



# にこにこだより



第3号



令和元年（2019年）7月1日（月）

横須賀市立ろう学校 幼稚部

## ★芸術鑑賞会の様子から★

6月21日（金）「チーム・ダンシング・クラウン with 和太鼓」がやってきました。コミカルな動き、迫力の太鼓、華麗なダンスに子どもたちの目が釘付けです。主に聴覚障がい児を考慮して創作された団体ということで、「見てわかる」演技が徹底されていたように思います。子どもたちが参加できる場面では、ノリノリで踊ったり、ぱちぱち手を叩いたり。そしてなんととっても庄巻は皿回しのパフォーマンスです。皿回しをやるといわれた幼2の男子、女子から「すごーい」と言われてとても嬉しそうでした。演技中も「がんばって！」と応援しているみんなの様子に心が温まりました。

教室では毎日様々なドラマがあります。小さなトラブルも、一緒に笑うこともたくさんあります。その中で子どもたちが互いを認め合い、感性を豊かにしていることを実感しました。「ことば」は子どもたちの感性や気持ちに乗り、「生きたことば」として育てていきます。いろいろな経験をさせながら、伝えたい、聞きたい、知りたいという気持ちを育てていくことの大切さを改めて考えさせられました。チームのみなさんは埼玉からきてくれたそうです。素晴らしい時間を本当にありがとうございました。



## たんぽぽ組の様子



担任 岩野恵美子 担当 野田 学



6月になり畑で育てている野菜が大きく実りました。子どもたちは朝の準備を終えると急いで外へ出て、自分のお気に入りのじょうろに水を入れ、「大きくなあれ。」と声をかけながら野菜に水をあげていました。26日（水）は、『しぜん』の時間に育てた野菜を使ってピザを作りました。自分たちで育てた野菜なので、一つひとつ丁寧に洗い、慎重に包丁で野菜を切りました。ピザ生地に切った野菜を乗せ焼き始めると「良い匂いがしてきたー。」「おいしそう。」と子どもたちから笑顔があふれてきました。ピザが出来上がると、ナスやピーマンが苦手な子どもも「おいしいね。」と言って食べていました。

ナスやピーマンが苦手な子どもも「おいしいね。」と言って食べていました。

# あさがお組の様子

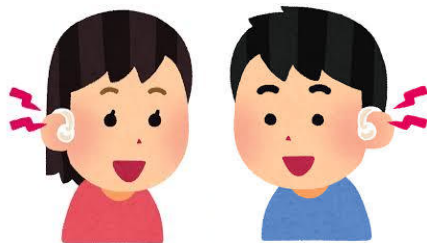
担任 常盤由美子 担当 吉川知彦

6月18日(火)、幼稚部のみんなで観音崎に行きました。見てください、この天気。遠足日和の快晴です。あさがお組では、2年生らしく隊長が大活躍。あいさつはもちろん、集合の合図を出し、人数を数え、トンネル、灯台、磯遊びとみんなを引っ張ってくれました。



磯遊びではカニや魚をとって喜んだりびっくりしたり。この奇怪な生物は何でしょう？このアメフラシを手を持っている

のはなんとママです。大人ってすごい！子どもたちが恐る恐る触っていましたが、腰は完全に引けていました。幼2の子どもたちが観音崎に来るのは2回目です。家族で来ることもあるとは思いますが、やはりみんなで遊ぶのが楽しいのでしょうか。また来たい！という声が止まりませんでした。



## 聴能のおはなし

補聴器はどのように掃除しますか？



この季節は汗に注意を！

毎日イヤモールドを見て、掃除する必要があるかどうかを判断します。基本的な手順としては、補聴器からイヤモールドを外し、イヤモールドを掃除して、乾燥させた後、補聴器に再度取り付けます。毎週または2週間毎に補聴器から外し、しっかり掃除してください。毎日のお手入れは、補聴器およびイヤモールドを拭くだけでかまいません。補聴器の部品は濡れないようにすることが大切です。濡れると補聴器が損傷することがあります。この時期は汗にも注意が必要です。たくさん汗をかいたらこまめに拭くようにしましょう。